Japan Animal Welfare Society

公益社団法人日本動物福祉協会

JAWS REPORT

Vol. 86

令和2年2月28日発行

特集

沖縄くめにゃんプロジェクト報告

2019年度 いぬねこ不妊去勢手術推進キャンペーン

支部だより(栃木支部)

日々の活動について

ジョーズジュニアコーナー：動物福祉啓発コミック

作文コンテスト受賞者発表

特集

くめにゃんプロジェクト

～久米島の野良猫TNR～

このプロジェクトの目的は、久米島内に棲み着いている野良猫の諸問題（野良猫の増加や糞尿被害・感染症の蔓延、交通事故など過酷な生活環境等）の解決と久米島内にある希少生物の保全、住民の間で動物福祉意識を高めるための一助となることを願い、不妊・去勢手術プロジェクトを、３年をかけ実施しています。

Jaws REPORT
ジョーズ・レポートVol.86

発 行 人 ： 山下眞一郎
編 集 人 ： 宇野　治 / 町屋　奈
編集協力 ： 有限会社 瀬戸広告社

公益社団法人 日本動物福祉協会
〒141-0022
東京都品川区東五反田2-6-5 フロインデ2階
TEL：03-6455-7733
FAX：03-6455-7730
URL：https://www.jaws.or.jp

令和２年２月28日発行

目次

●沖縄くめにゃんプロジェクト報告 02 - 07
●セミナー報告 08 - 10
●いぬねこ不妊去勢手術推進キャンペーン 10
●告発した福井県動物取扱業者について 11
●譲渡報告 12
●動物との共生を考える連絡会報告 13
●支部だより（栃木支部） 14 - 15
●作文コンテスト 16 - 17
●ジョーズジュニアコーナー 18 - 19
●事務局からのお知らせ&報告 20 - 21
●寄付者ご芳名 22 - 23
●会員継続と会費納入のお願い・その他 24

くめにゃんプロジェクト［第一弾終了報告］

施設・設営

くめにゃんプロジェクト

これは協働プロジェクト

このプロジェクトは、久米島役場環境保全課環境保全班、ホタルの会及び婦人会ボランティア、(公社)日本動物福祉協会の三者による協働プロジェクトです。手術期間は3日間。手術をする野良猫の目標頭数は150頭です。

【プロジェクト参加者内訳】

●久米島役場環境保全課環境保全班3～4名 ●ホタルの会及び婦人会ボランティア4～5名 ●(公社)沖縄県獣医師会2名 ●(公社)日本動物福祉協会2名 ●日本獣医生命科学大学2名 ●その他、島民の方々

タイムスケジュール

10月15日
PM 1:00～ 施設設営＆ミーティング開始

10月16日
AM 9:00～PM 5:00 手術実施

10月17日
AM 9:00～PM 5:00 手術実施

10月18日
AM 9:00～PM 5:00 手術実施
PM 5:00 撤収

▲手術施設となった公民館

▲全体ミーティング

▲施設内

▲本部テント

受付・準備

受付

ボランティアスタッフが島民からの受付を行います。受付の際に、野良猫にエサを与えている方及び飼い主からは、念のため手術に関する同意書を1通ずつ取ります。その他に受付台帳にも記載し全体の管理を行います。また捕獲器には受付台帳と相違がないように、1基ずつ管理番号と何処のエリアで捕獲した個体なのか記した管理札を取り付けます。準備ができた段階で捕獲器を手術室内に運び入れます。

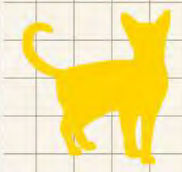
▲受付風景

▲捕獲器

▲施設外テント

事前処置

まず室内の前処置スペースで体重を測り、町屋獣医師が個体の体重に合わせて鎮静剤・麻酔薬の投与を行います。麻酔が効いたら捕獲器から猫を取り出し、個体の間違いがないかを確認し、またどこまで施されているのか誰が見てもわかるように猫の身体に個体識別タグを付け、抗生剤を投与します。手術のための毛刈りはボランティアスタッフが対応します。



捕獲器の洗浄作業

猫たちを手術している間に、捕獲するために仕掛けた餌などで汚れた捕獲器を、手術施設外で町役場の職員の方々に洗浄してもらいます。

▲処置待ち

▲個体識別タグ

手術開始

▲避妊手術

▲毛刈り

▲手術風景

▲去勢手術

手術

準備ができた段階で仲本獣医師・横山獣医師・田中獣医師の3名に引き渡し手術を行います。

耳カット・覚醒

耳カット後、櫻井動物看護師・林動物看護師で麻酔の覚醒・施術者のフォローを行います。器具の洗浄・滅菌作業はボランティアスタッフにお願いします。すべてが終わった段階で、町役場の職員によって綺麗に洗浄された捕獲器に戻し、麻酔から覚醒するまで様子をみます。

リターン

リターン

猫が麻酔から覚めて問題ないと判断された段階で、ボランティアスタッフが、猫を連れてきた人に術後の注意点を説明し、元居た場所にリリースしてもらうよう伝え、猫を返します。

くめにゃんプロジェクト結果（単位：頭）

日付	オス	メス	計
10月16日(水)	26	23	49
10月17日(木)	21	30	51
10月18日(金)	23	24	47
合計	70	77	147

プロジェクトを終えて

島での猫の飼育は、中外自由という「ほぼ野良状態」が多いと聞いていました。そのため、事故にあったり感染症に罹患する個体も多く、久米島の前に視察した他団体のTNRプロジェクトでみた野良猫達よりも、身体・被毛などの外貌の状態が悪い個体が散見されました。

今回のプロジェクトでは島民の方々が手術の重要性を感じ、自主的に連れてきたおかげで、目標頭数を手術することができました。

島の猫たちの特徴として、術後に血が止まりにくい猫も多く、「サトウキビ畑で殺鼠剤がまかれている」、「外から帰ってきたらフラフラして倒れ死ぬ猫がいた」、「外傷もなく死亡している猫を見ることが多々ある」などの島民の証言から、殺鼠剤・農薬系中毒が疑われました。

当協会は、離島での不妊去勢手術の経験が乏しいため、プロジェクト初日は、手の空いているボランティアさんへの指示がうまくできなかったり、麻酔薬が不足するなど効率的に動けず、時間のロスが多くありました。

また、「外」の受付と「内」の手術施設との連携がうまくいかず、相互の情報伝達がきちんと取れていないという問題もありました。関係当事者間でのミーティング及びコミュニケーション不足を痛感したため、全体を俯瞰して管理する指揮命令系統を役場に担ってもらう必要性があると感じました。

また、血が止まりにくい個体や術後状態が悪い個体をどのように管理していくかなどの課題も浮き彫りになりました。JAWSレポート85で報告したように、不衛生な保護施設に術後の猫は置いておけないため、今回、急遽ボランティアさんの自宅で様子をみていたところ、覚醒後に猫があばれ、リリースすべき場所とは違う場所で逃げてしまうというトラブルもありました。そのため役場による早急な保護施設の設営が必須だと考えております。

最後になりましたが、今回お借りした公民館には空調設備がなく、急遽、簡易的な冷風機を用意してもらったものの十分ではなく、汗だくになりながらも黙々と手術を行っていただいた沖縄県獣医師会の先生方、および日本獣医生命科学大学の先生には本当に感謝申し上げます。麻酔薬が足りなくなった時に那覇空港まで届けていただいた沖縄県獣医師会のご協力もあり、今回のプロジェクトを無事に遂行することができました。各関係機関・ご協力いただいた皆様には大変感謝申し上げます。

今後の目標

動物保護施設の設営のほかに、島内で継続的に不妊去勢手術を行えるよう、獣医師を派遣してもらえるシステムを3年間で構築することを目標にしています。

備考

初日には久米島町議員、最終日には久米島町長が視察されました。
今回、時間の関係上、手術ができなかった猫や島民の管理の外にいる野良猫に手術をおこなうために、2020年3月に第二弾を予定しています

セミナー・研修会 開催報告 下半期に開催したセミナーの報告

法獣医学研修セミナー（実践編）【虐待のリンクについて】

8月3、4日の2日間、日本獣医生命科学大学で「法獣医学研修セミナー（実践編）」を開催いたしました。そして、今回、はじめて「虐待のリンク」について、（一社）アニマル・リテラシー総研理事で社会福祉学博士の山﨑佐季子先生にご講演をしていただきました。非常に大切な分野ですので、今回その一部内容・感想を紹介いたします。

動物虐待と対人暴力の連動性のことを「リンク（LINK）」と呼び、近年、「リンク」の様々な調査研究がなされています。現時点では、家庭内暴力（DV、幼児・児童虐待、高齢者虐待）、体罰、いじめ、凶悪犯罪などが動物に対する暴力と連動する可能性が高いことが報告されています。つまり、動物虐待は動物だけの問題にとどまらず、人間社会の秩序・治安にかかわる大きな社会問題であると言えます。

講義の中で特に印象に残ったのが、「社会的学習理論」です。この理論によると、人間は様々な行動を他者から見て学ぶといわれ、動物虐待についても「複数回の虐待を目撃すると、目撃者が暴力に手を染めるリスクが高まる」というデータもあるそうです。

もし、子どもが暴力行為を日常的に目にする環境にあると、子どもが犯罪を犯すリスクも高まります。現在、スマートフォン等の普及により、子どもたちは、ネット上で多くの動画・画像などの情報を目にすることができます。その中には、動物虐待動画も含まれ容易に視聴することができるのです。この理論から、子どもたちを守る意味で、少しでも暴力・虐待映像を子どもたちから遠ざけるための規制をかけることが急務といえます。

また、子どもに暴力行為を見せることは、子どもの心理的虐待になるということも忘れてはなりません。そして、「リンク」の危機管理として、動物と人間の福祉関係機関との連携・協働を整え、相互に通報できる体制づくりが重要です。動物と人間の福祉は表裏一体であるという『One Welfare』という概念が注目されており、「リンク」は正にこの概念の一端を担う分野と言えます。

最後に、犬猫などの哺乳動物が被害動物という特徴は、対人暴力と連動する危険性が高い動物虐待の数ある特徴の一つである、というお話も大変興味深く聴講しました。

動物福祉市民講座

8月20日に第4回動物福祉市民講座を開催しました。講師の入交眞巳先生には2時間という短い時間で、犬猫のしつけ、コミュニケーションスキルの他に、豚を用いたアニマルウェルフェアの調査・研究を基に「One Health One welfare」についてわかりやすくご講義いただきました。食の安心・安全そして美味しさは、産業動物の幸せから、もたらされるということがよくわかるご講義でした。また、犬猫のしつけでは、体罰方式がよくない理由やほめるだけのしつけの誤解等を論理的に、そして症例を交えて、わかりやすくお話をしていただきました。

9月25日には第5回市民講座で「災害対応や家庭でできる応急処置」を、田中亜紀先生と佐伯潤先生にご講義いただきました。

11月2、3日には、第6回市民講座として「産業動物の福祉セミナー」を、英国からRSPCA職員を招聘して、英国の現状についてご講義いただきました。また、日本の産業動物の現状として、一般社団法人アニマルウェルフェア協会代表であり帯広畜産大学準教授の瀬尾哲也先生と入交先生にお話をしていただきました。参加者からは、日英の比較ができ、非常に参考になったと好評をいただきました。

RSPCA スキルアップセミナー

11月4、5日に、動物福祉の基礎的な知識だけでなくもっと踏み込んだ深い実践的な知識を身に付けたい、得た知識を社会に還元していきたいという方を対象として開催いたしました。内容はグループワークが中心で、各グループで各動物種の生理生態習性をもとに飼養管理基準などを作成し、発表していただきました。

第4回シェルターメディスンセミナー

4回シリーズの第4回を12月7、8日で開催いたしました。1日目は、田中亜紀先生から災害獣医学、動物虐待そしてシェルターボランティアについてご講義いただき、自治体からの報告では、シェルターメディスンを取り入れた飼養管理を実践している新潟県動物愛護センターの金子未央先生にお話をいただきました。猫の馴化については、どの自治体でも苦慮されているところですので、センターでの事業としての取り組みは大変興味深く拝聴しました。2日目は、今回初の取り組みとして、ディスカッション形式を取り入れ、入交先生には、参加者からいただいた多くの質問にお答えいただきました。また、田中先生には、シェルター内のガイドラインについてご講義いただきました。

2019年度 いぬねこ不妊去勢手術推進キャンペーン〈中間報告〉

本キャンペーンは(旧名称:捨て犬捨て猫防止キャンペーン)、毎年対象の都道府県を変え、捨てられる犬猫の増加や猫による環境被害などの問題を解決・改善するために開催し、本年度で26年目を迎えることになりました。本年も犬・猫の処分数や不妊去勢手術の助成金補助のない地域などを考慮して各地方獣医師会と相談し、本年は昨年に引き続き、対象地域として「大分県」と繁殖しやすい温暖な気候・環境の「沖縄県」、さらに平成12年以来久しぶりの開催となる「和歌山県」の3県で実施しています。各地方獣医師会や自治体、メディア各社の周知ご協力のもと2019年9月1日より応募開始し、10月31日で応募を締切りました。多くの方にご応募いただきましたが、残念ながら2県で定員割れとなってしまいました。ご当選された方から、丁寧にご執筆いただいたお手紙や直接のお電話で感謝のお言葉をいただいております。

助成内容は表1、一次募集の実施結果は表2 の通りです。11月下旬に当選者へ当選ハガキの発送を完了しています。最終結果は次号87号でご報告させていただきます。

【表1】助成内容(各県予定頭数)

助成予定頭数	助成金額(1頭当たり)
600頭	5,000円

【表2】実施結果

地域 ▼	応募頭数(頭)						当選頭数(頭)					
	メス			オス			メス			オス		
	猫	犬	計	猫	犬	計	猫	犬	計	猫	犬	計
沖縄県	258	50	**308**	171	37	**208**	252	49	**301**	164	36	**200**
大分県	670	59	**729**	367	35	**402**	567	55	**622**	339	35	**374**
和歌山県	142	49	**191**	109	47	**156**	142	49	**191**	109	46	**155**

※各助成額につきましては、獣医師会と話し合いの結果、上記の通り決定いたしました。

告発した福井県動物繁殖業者、再び不起訴処分に

2018年に当協会が告発し、一度不起訴処分と判断された福井県繁殖業者事案については、検察審査会で、検察官の捜査は不十分として不起訴不当の決定を受け、再捜査されていました。しかし、2019年10月25日付けで、福井県地方検察庁から不起訴が確定した旨の通知を受け、本件については不起訴が確定しました。

この福井県地方検察庁の判断については、実際にどうような再捜査を実施したのか、また、なぜ動物虐待として認められないのかなど多くの疑問が残り、決して納得できるものではありません。

しかし、今回の告発により、飼養環境の具体的かつ明確な基準を設けることや、職員1人当たりに対する飼養頭数制限の必要性など、社会への大きな問題提起ができたと考えています。

実効性のある飼養管理基準の設定により、自治体が適切な指導監督を実行して、虐待を未然に防いだり、虐待を早期発見し被害を最小に抑えることなど、しっかりと動物の福祉を守り、動物虐待を取り締っていくことが重要です。

また、そのためには、動物虐待罪の構成要件もより明確化していくことが必要不可決と考えます。

一方で、今回の法改正では残念ながら議論にもなりませんでしたが、虐待または虐待疑いの動物を速やかに救出保護できる一時緊急保護が喫緊と考えています。

今後も、物言えぬ動物達のために地道に活動してまいります。

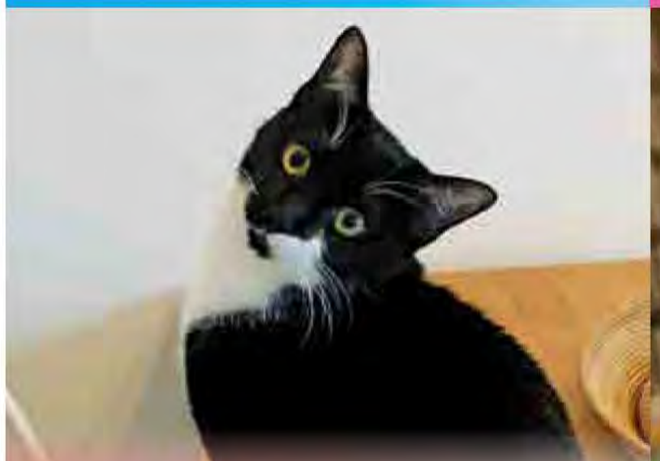
～譲渡報告～

New family

本部でご縁を結び、
新しいご家族に迎えられた動物たちの
幸せなその後の様子をご紹介します。
是非ご覧ください！

あーちゃんのその後…

「あーちゃんが家に来てから半年間はオドオドしてましたが、毎朝の散歩は欠かさずしてます。散歩途中では気の合う友達も出来ました。近所の人にも人気が有り、何時も頭を撫でられてご機嫌です。クリスマスの日にトリミングサロンに行き、さらに綺麗になりました。私が帰ると必ず玄関にまで迎えにきます。その時「お願いお願い」をして、その姿はたいへん愛くるしいです。頭の良い子で、とにかく可愛いです！」



ロミオくんのその後…

「はじめの一週間は慣れない環境で緊張も強く、夜鳴きも頻繁にあり心配でしたが、福祉協会にその都度相談が出来たことで安心感もあり、日を重ねることにロミオと私との距離も縮まりました。今では私の就寝時に枕元に来て一緒寝たり、外から帰ってくると猛ダッシュで玄関まで迎えに来てくれるまでの関係になりました。去勢手術で動物病院へ行った時は、私の肩によじ登ったまま頑として離れようとしなかったりと、甘えん坊な性格のようです。動物は体調も変わりやすく、日々一緒に生活をしている中で、ちょっとした変化にも気付いて対応していかなければなりませんが、時々見せてくれる愛くるしい仕草は何ものにも代えがたく、最期まで大切な家族として愛情を持って育てていきたいと思っております。」

あみちゃんのその後…

「あみちゃを我が家に迎え5か月が過ぎました。あみはとても甘えん坊な性格で、横になると直ぐにすり寄って来ます。ごはんもよく食べてくれて至って元気です。特に大好きなのは魚よりお肉の様です。もちろん毎日一緒に寝んこしています。ふるさと青森にも一緒に帰省し新幹線も慣れ、大人しくして乗っています。実家は一面雪で覆われていますが、暖かい家の中で特に階段が気に入って上ったり下りたりします。また、スヤスヤと眠る姿は特に愛らしいの一言です。今では、わたくしの一番大切な家族です。」

動物との共生を考える連絡会 開催

当協会も幹事を務める「動物との共生を考える連絡会」では、この度、医療・医薬等開発のために利用される動物のあり方を考えることを目的に、動物実験の課題に関して様々な専門家が執筆した記事を収載した、新たな『資料集：動物実験のあり方を考える』を作成しました。

資料集では、動物実験に関する政策の世界的動向や海外の事例や専門的な知見までをカバーしており、以下の専門家等が執筆した、豊富な内容になっています。

1）実際に実験動物を活用している関係者
2）動物実験代替法の研究をしている関係者
3）法律的見地から動物実験の扱いを研究している関係者

この他、協働させていただいているアメリカの動物福祉団体 Humane Society International（HSI）にも企画協力者として寄稿していただいております。

同団体のHPにも公開されておりますので、関心のある方は是非ご一読ください。

https://www.dokyoren.com/

大久野島（通称ウサギ島）について

うさぎの楽園といわれている広島県の大久野島を訪問した海外旅行者が投稿した動画を見た方からの相談が相次ぎました。そこで、この島を管轄している環境省に問い合わせたところ下記の回答を得ております。

○ 大久野島に生息するウサギは、元は飼いウサギであったが、40 年以上前に野生化したもの。

○ 大久野島は国立公園内に位置し、近年、野生のウサギと身近にふれあえると話題になり、国内外から多くの観光客が訪れるようになるにつれ、観光客が与える餌に強く依存する状態から個体数が増加し、一部には高密度で生息するエリアも発生。

○ このため、昨年度にウサギの健康状態やウサギをはじめ大久野島の管理運営に関係ある様々な関係者の意識等の実態把握調査を実施し、課題の整理を行った。その結果、大久野島を所有・管理する立場にある環境省としては、現状の課題としては、公園利用者への人獣共通感染症に関する安全上のリスク、大量の餌の持込みにより発生するゴミ問題や他の野生動物への間接的餌付けの問題、動物愛護の観点も含めウサギ個体群への悪影響、所有者のいない野生化した動物への餌やりが良いものという誤った認識の定着等、多くの問題が懸念される状態であり、所管地の管理、適正な公園利用、観光との両立や動物愛護等、様々な観点から早急に課題解決を図る必要があるとの認識。

○ 以上を踏まえて、様々な立場の関係者が集まる場を設定し、大久野島の適正な利用のあり方について合意形成を図り、適正な利用ルールや管理方針につなげる取組の実施に向けて調整を進めているところである。

以上

この島のウサギを守るためには、野生で生活している動物であることを忘れずに、以下を遵守することが大切と考えます。

1）島へのウサギの遺棄防止
2）観光客による餌やりの禁止
3）観光客によるゴミの持ち帰りの徹底

支部だより

栃木支部
支部長　川崎亜希子

動物愛護法改正に現場から思うこと

～緊急災害時対応／緊急保護と飼育禁止命令の必要性～

今年度、台風被害により、大規模な水害に襲われた栃木県。近年、栃木県内では何度か水害が起きているが、動物同伴での避難の問題は相変わらずである。ただ前回と異なるのは、ネット上で情報を入手しやすくなっていることや、動物を飼育している住民側がより賢くなり、近くの避難場所は同行避難、同伴避難が可能かなど事前に調べるようなってきている点であろう。その流れに押される格好で、自治体側も民間と協働して避難場所を増やしたり、情報提供しているところが出てきている。

しかし、残念ながら今回も救援本部に類するものが立ち上がらず、それどころか、避難場所の学校が水没し、避難していた人の車まで水没してしまい、ずっと懸念していたことではあるが、ただでさえ忘れられているに等しい学校飼育動物の犠牲が再びあったことを記しておかなくてはならない。日常的に十分な管理ができておらず、また獣医療の問題もある学校飼育動物については、考え直す時期に来ていると思う。

さらに、今回エリア内のカインズホームが水没し、店内に残されていた相当数の動物が死亡、ペットホテルに預けられていた動物も死亡するという事件が起きた。今後も災害は予測されるため、法改正の流れの中で第一種取扱業者には緊急災害時対応について具体的な対策を求め、かつ再発防止を行ってほしい。

また、栃木県だけではないと思うが、報道などでも問題が指摘されているアニマルホーダーの現場が栃木県内でも多数存在し、知る限りでも約70頭以上の犬の現場が複数、猫については無数に点在しており、支部として対応に追われている状態だ。

アニマルホーダーの特徴は、個人の飼育頭数のキャパシティーをとっくに超えているのに、とにかく「手放したがらない」。犬や猫を数十頭抱えて問題が起きないわけはなく、避妊去勢は追いつかず数は増え、また厄介な場合は飼い主が増えることを楽しみにしているような節もあり。ネグレクト状態は常態化しており、犬同士のけんかによる咬み殺し、逸走が頻発し、人への咬傷事故さえも起きている。特に高齢者の一人暮らし男性で生活困窮者が多く、数十頭もの犬や猫を抱え、排泄物や捨てられない雑物で家はごみ屋敷と化し、動物も雑物も管理ができていないのに手放すのを拒否するというケースである。寂しさや喪失感などが裏側にあるのかもしれないが、ゴミはまだしも命ある動物たちにしたらたまったものではない。獣医療どころか、日々のフードさえも満足になく、犬たちの場合は短い鎖で拘束され、散歩などの運動もなく、毎日がストレスでいっぱい。犬同士のけんかが絶えず、けがをした犬は放置されて亡くなるのを待つようなありさまだ。子犬や子猫が生まれても、すぐにかみ殺されるか育児放棄されて死んでしまうことが多く、生き延びても手放してもらえないので、命が脅かされるようなひどい環境の中で生きていくしかないのだ。

一番問題なのは、このように明らかな虐待を行っているにもかかわらず、たとえ動物愛護法で有罪になっても、動物たちに対する所有権を盾にホーダーが所有権放棄を拒否すれば、動物を保護することができない点である。犯罪を罰するために動物愛護法で有罪にすることはもちろんだとしても、動物たちを救い、再発防止がなされることこそが本題なのである。そのためにも多くの国で既に導入されている、所有権を一時停止して動物を救う「緊急保護」と、所有権を取り上げて、それ以降動物の飼育を禁止する「飼育禁止命令」が罰則の中に入れられることを切に願う。真の問題解決と再発防止のためにはそれしかないからだ。また、ホーダーの死亡や入院など、ひとたびことが起きれば大量の動物の受け皿がなく、行政施設に入れば飽和状態になり、一気に殺処分など、公金を投入して後始末を行うことになる。税金の使途や公益性、公共性の点からみても、青天井に所有権ばかり保護されるというのは、もはや時代錯誤というほかない。

栃木県足利市において動物愛護法第44条2項（ネグレクト）違反容疑で逮捕された容疑者の猫約30頭が、逮捕時に証拠物件として栃木県動物愛護センターに長期間保管されているが、ホーダーの飼い主が頑として所有権を手放さず、このままだと殺される可能性が高いと知っていながら猫を戻さなければならない状態である・・・。センターの職員も当方も本当に苦しく悩ましい状態だ。しかも無料で預かっている状態なので余計にやるせない。また、この事件のせいでセンターも収容のキャパシティーが厳しくなっており、支部としても、フードや一部の獣医療の提供などをセンターに対し行っている。この様な支援ができるのも当協会をサポートしてくださっている皆様のおかげであり、感謝は尽きない。

第60回（令和元年）動物愛護の作文コンテスト

～全ての命を大切にする心を育む～

今年は、約2400篇の応募がありました。厳正な審査を経て、小中学生それぞれ14名ずつ、計28名の皆さんが受賞されました。

やがてこれからの日本を担うことになる小中学生が夏休みを利用して、動物たちとの経験や書物を読んで考えた動物の命の大切さや人と動物の関係を、自分の言葉で表現してくれた作品が多くあったことは、出席した方々にとって心強いメッセージになりました。

表彰式は11月24日（日）に東京プリンスホテル／サンフラワーホールにおいて開催されました。表彰式には名誉総裁常陸宮妃華子殿下の御臨席を賜ると同時に、100名近い受賞者及びそのご家族等同伴者、環境省をはじめとするご来賓、審査員の方々にご出席いただき、厳粛な中にも温かな雰囲気に包まれて執り行われました。受賞者は、賞状とともに、妃殿下から御下賜品を賜り、ご同伴された皆様にとっても、忘れがたい貴重な思い出となったものと思います。

小学生の部受賞者					中学生の部受賞者				
	学校名	学年	氏名	題名		学校名	学年	氏名	題名
環境大臣賞									
兵庫県	仁川学院小学校	2	荒木 伶王	動物さん待っていてね	神奈川県	横浜共立学園中学校	2	米岡 芽生	ギータの一生とお金の話
日本動物福祉協会一等賞									
栃木県	作新学院小学部	6	岡本 一城	ぼくにできること	東京都	お茶の水女子大学附属中学校	2	中口 ひより	人も動物も満たされて生きる
一般社団法人昭和会館賞									
宮城県	仙台市立南吉成小学校	6	堀内 夕太朗	見えない境界線	東京都	成蹊中学校	3	森 有理恵	兄の体験
JAWS.UK賞									
神奈川県	伊勢原市立桜台小学校	5	早川 恵	お肉になるということは	島根県	雲南市立大東中学校	2	上代 美瑚	共存できる町
日本動物福祉協会二等賞（五十音順）									
神奈川県	伊勢原市立桜台小学校	6	秋山 ゆり	「畜産動物に、感謝を。」	千葉県	松戸市立河原塚中学校	1	石川 彩夏	絶滅させないために私達ができる事
兵庫県	西宮市立南甲子園小学校	4	大恵 貴子	すきだから、かわない	和歌山県	和歌山大学教育学部附属中学校	1	上野 忠峰	保護犬施設を訪れて
鹿児島県	鹿屋市立下名小学校	6	小牧 達哉	小さな命	埼玉県	さいたま市立原山中学校	2	木島 ほのか	動物と共に生きるための環境づくり
埼玉県	川越市立大東西小学校	5	坂田 大和	埼玉県の保護動物について	福岡県	朝倉市立比良松中学校	1	古賀 唯月城	命を助ける
秋田県	由利本荘市立西目小学校	4	鷹嶋 寿怜	全ての命に「本当の幸せ」を	奈良県	河合町立河合第二中学校	2	戸島 清太	生き物を飼うことの意味
徳島県	徳島文理小学校	5	原 尚寛	小さな命の重さ	福岡県	大野城市立大野東中学校	2	中村 匠瑛	殺処分を減らすために
福岡県	福津市立福間小学校	3	廣渡 木蓮	動物たちの守り人	愛媛県	愛南町立城辺中学校	3	本多 亜呂羽	現状を知り飼い主になるということ
静岡県	牧之原市菊川市学校組合立牧之原小学校	4	向笠 陽大	馬が教えてくれたこと	大阪府	四天王寺中学校	2	松井 万里子	競走馬に第二の人生を
福岡県	福岡雙葉小学校	4	矢幡 千尋	象と出会って	沖縄県	石垣市立白保中学校	2	三島 あかり	わずかなできること
富山都	富山市立五福小学校	2	吉川 侑来	うみで出あった「とり」	岡山県	岡山県立倉敷天城中学校	1	山本 亜生子	「命」

環境大臣賞 ―― 小学生の部

動物さん待っていてね

仁川学院小学校（にがわがくいんしょうがっこう） 二年（にねん） 荒木（あらき） 伶王（れおん）

今、地球では「温だん化」が進んでいます。初めてそれを聞いた時ぼくは「単に気温が上がるだけ」と思っていました。そう言えば、この夏は、庭の草が茶色く枯れたり、だんご虫が真っ白になってかわいていたな…と思いながら、くわしく調べていくと、それはもっと恐ろしいことなんだ、と気づきました。温だん化が進むと、生態系が壊れる。「あっ、これシンガポールのナイトサファリで聞いた話や！」思わず声が出ました。南極の氷がとけると、そこに住む動物がひ害をうけるだけでなく、水位が上がり、どこかの島がしずみます。水害や塩害がおこりやすくなり、異常気象が起こりやすくなります。それが身近に、たびたびに起こるようになると、生き物がほろんでゆきます。一種類ずつ、だんだん。ぼくは、ブルブルとふるえるほど怖くなりました。そしてまた、疑問にもおもいました。

「なぜみんな、こんな大きな問題に気付かないのだろう」

と。そしてお母さんに聞いてみました。すると

「みんな動物が死んでいるだけで、自分には関係ないと、真剣に向きあってないんやろ。気づいてないんちゃうで」と答えました。

「真剣に向き合うって、何なん？」

それは、きちんと目標を立てて、近づいて行くことだと、ぼくは思います。しかし、温だん化は、ぼくらの毎日の生活ではほとんど分かりません。分からないし、見えないものをマシにする、食い止めるにはどうしたらいいんや、とぼくは考えました。みんなが、ゴミをへらしたら、しょうきゃくする物がへると二酸化炭素がへる。まずはペットボトルでなく水とうを使えば、ゴミがへる。洗たく物をへらせば、水が汚れない。

「こういうことを、みんなやればいいんや！」

と、ニコニコして話すとお父さんが

「お前、なんにもできてない。口だけや」

と言いました。

「もっとちゃんとせなあかん」とドキッとしました。ぼく一人のことすらきちんとできていないことに気づくと、くやしく、悲しい気持ちでいっぱいになりました。また、みんながしないと変わらないやん、と思った時、そんなことできるんか？　とても不安にもなりました。

動物は「助けて！」とは言えません。でも助けたい。ぼくが、動物を助けたい理由は、動物は人間の仲間だからです。やさしい友達だと思っているからです。熊やイノシシが町の中をウロウロすることが多くなったのは、生態系の変化を示していると思います。身近なところで、それはもう起きているんだとわかりました。世界では毎日、どこかで絶めつしたり、危く種に指定されたりする生き物がいます。このままでは、いつか本当に食料もなくなり、ほろぶことを人間は少しは気付いているのに、みんなが本気にならない。そのことにも、ぼくにも腹が立ちました。

くやしいけれど、みんながいっぺんに変わる方法が、まだ見つかりません。お母さんと何度も何度も、話し合いましたが、見つかりません。学校で校則にしてもらったらいいか？　いや、みんなあんまり校則守ってない。大統領に手紙書いてたのめばいいんか？　いや、ぼくのことなんか知らんし。

でもぼくには、一つ計画があります。それは動物の絵を描き続けることです。ぼくは絵が大好きです。絵で動物のかわいらしさや、大切さ、命をむだにしない生き方を伝えていきたいです。このままだと、人間と動物が一緒に生きていくことができる地球はもうなくなるかも知れないです。そんなことを起こさないためにも、一日でも早くみんながこの問題を自分のこととして、くらし始めて欲しいと伝えたいです。だから「動物さん、待っててね。ぼく、必ずきみたちを助けるからね」

環境大臣賞 ―― 中学生の部

ギータの一生とお金の話

横浜共立学園中学校（よこはまきょうりつがくえんちゅうがっこう） 二年（にねん） 米岡（よねおか） 芽生（めい）

オスのシーズー犬、ギータは私が小学校四年生の時、十七歳半で亡くなった。ギータは私の初めての友達である。犬の平均寿命は身体の大きさにもよるが十から十四歳なので一般的には長生きだったと思う。

日本では犬や猫を買うのが簡単で近くのペットショップに行き、数十万円を払えば可愛い子犬や子猫がもう自分の物になる。ではその時に、今目の前にいる子が十数年後には老犬や老猫になる事、そして同じように自分も十何歳年を取り、生活環境が変化していく事をしっかりと想像出来ている人はどれだけいるのだろうか。難しい事だと思う。私だって目の前の可愛くて小さな生き物に夢中でそんな想像出来ないだろう。けれどもそうやって簡単に飼えてしまう結果、今なお年間十万頭以上の動物が廃棄され、その内四万頭以上が殺処分されている現実があるのだと私は考える。そこで生き物の一生を背負うという事についてギータの生涯を通して具体的に考えていきたいと思う。

まず初めにギータは母が独身の時にペットショップで買った犬である。母はどうしても犬を飼いたかったが、仕事で日中家には居ない事もあり、一年程悩み、犬についての本を読み、比較的留守番に強く一人遊びが得意な犬種のシーズーを選んだそうだ。寂しがり屋の犬や長い散歩を必要とする犬は選択肢から外したという。

数年後母は結婚し、その相手である父が突然海外転勤になった。そこで赴任国であるアメリカの動物検疫のルールを調べ、入念な準備をして、ギータも一緒に太平洋を渡る事になる。短鼻種の犬にとって、貨物室での旅は辛く、家族と離されて不安だっただろう。

そしてアメリカの生活に慣れた頃、ギータ最大のピンチともいえる私が誕生する。すぐにハイハイをするようになった私はギータを追い回し、尻尾や耳を引っ張るので、私との写真の中のギータはとても嫌そうな顔をしている。けれども私が寝ている写真にはいつでも寄り添って寝ているギータの姿がある。

ここで少しお金についての話をしたい。あまり病気をしない健康なギータだったけれども、アメリカに居る頃、尿道結石になり手術をし、その費用は三十万円を超したそうである。また亡くなる前の半年は病院通いが続いたので毎回一万円以上の治療費がかかっていた。転勤時に家族分の渡航費は会社で補助されるが、犬は補助されない。機内食も出ないのに飛行機代が人間より高かったと母は笑っている。家を借りる際は保証費が余計にかかるし、トリミング代は父の床屋代の倍以上かかっていた。

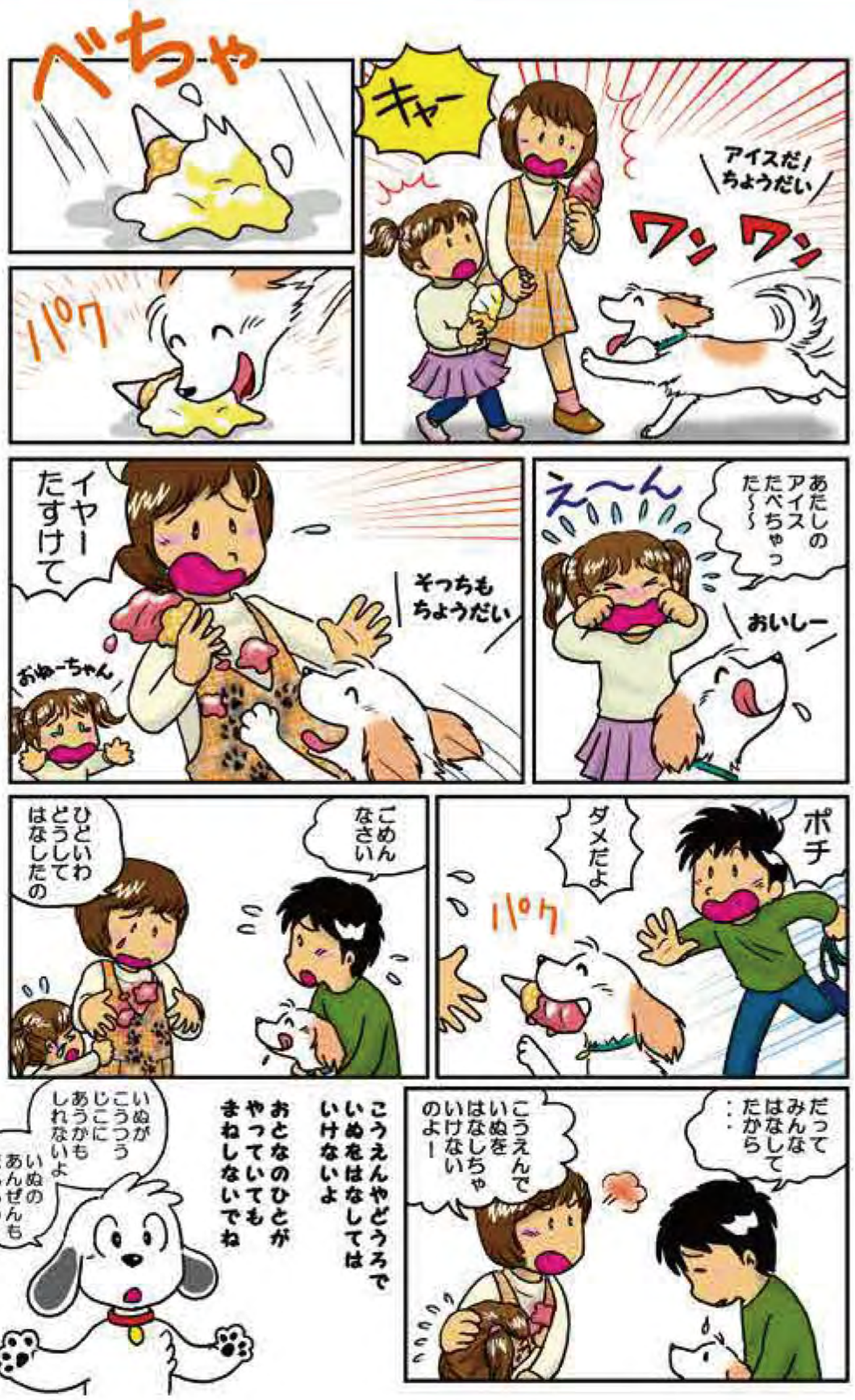
さて、海外勤務も終わり帰国したギータは八歳になっていたが、まだまだ元気で散歩中に年齢を言うと、いつも若々しくて驚かれていたのを思い出す。様子が少しずつ変になってきたのは十六歳位の頃で、トイレの失敗が増え、夜中に悲しそうな声で鳴き、家の中を同じ方向にぐるぐる歩き回るようになった。認知症の初期症状である。そこで母は仕事を一旦辞めて家でギータと過ごす事を選択した。昼夜逆転の生活が続いた十七歳のある日、けいれんして倒れたギータは動物病院で今夜が山です。と言われる。獣医師の対応に納得がいかなかった両親は、新しく近所に出来た病院にその足で連れていき、そこで緩和治療を続け、半年後、家族全員が家にいた日曜日に静かに息を引き取った。

このように犬の一生は長くその間に飼い主の生活環境は大きく変化し、想定外の費用は随時発生する。だから目の前の子犬を飼いたいと思う人は、何があってもその子を育て、看取るという覚悟をしっかりと持つべきである。そしてそれが出来た人だけが、ペットと暮らすという最高の幸せを享受する資格があるのだと私は考える。

Jawsレポート86

原案・山崎恵子
まんが・みさわ桂介

いぬ を はなしては いけないよ



事務局からのお知らせ&報告

2019年度動物愛護週間中央行事のご報告「共に生きる～シニアペットとシルバー世代～」

今年の中央行事は、屋外行事が9月14日（土）上野恩賜公園（噴水前広場）にて、屋内行事が22日（日）台東区生涯学習センターミレニアムホールにおいて、開催されました。屋外行事は暑からずの天候に恵まれて約6,700人の方々が動物福祉・愛護関連団体の催しや野外ステージでのイベントを楽しまれました。当協会のブースにおいては子供たちが好きな「ぷかぷかアニ〇すくい」やグッズの販売を行い、集まった子供たちは大喜びでした。
屋内行事には155名の方が来場されました。第一部は、愛護週間にちなんだポスター、標語、写真などの受賞者に対する表彰式が行われました。第二部は、動物病院および老人ホームの代表者より、シニアペットの健康寿命やシルバー世代とペットの共生について講演がなされた後、今回のテーマに沿ってパネルディスカッションが展開されました。

【理事会決議報告】

2019年7月度
・第60回作文コンテスト開催承認
・各種イベントに対し当協会の名義使用承認
・会員入会承認　他

2019年9月度
・2019年度動物愛護週間中央行事参加承認
・各種イベントに対し当協会の名義使用承認
・助成案件承認　他

2019年10月度
・各種イベントに対し当協会の名義使用承認　他

2019年11月度
・各種イベントに対し当協会の名義使用承認

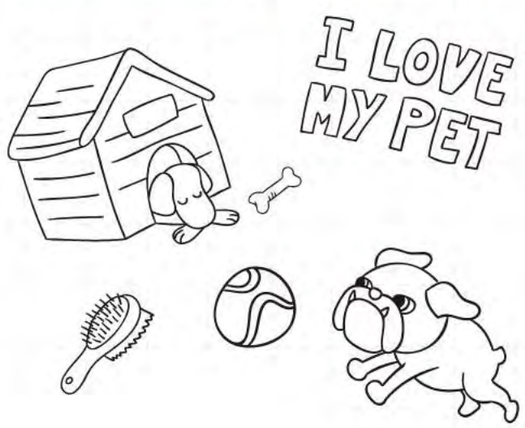
山口千津子顧問 令和元年度動物愛護管理功労者環境大臣表彰受賞のご報告

動物愛護管理に長く携わり、その功績が顕著である者に贈られる2019年「動物愛護管理功労者環境大臣表彰」の受賞者として、当協会の山口千津子顧問が選考され、9月25日に環境省で表彰式が行われました。本邦における動物福祉の草分け、かつ第一人者として当協会に40年近く在籍し、本邦への動物福祉の浸透とその改善に多大な貢献をしたことが高く評価されたものです。

2020年版 JAWSオリジナル動物カレンダー

オリジナル動物カレンダーの2020年版が好評です！是非ともご家庭に1冊、ご注文いただき、日々かわいい動物の写真をご覧ください（見開きA3サイズ / 1部1,800円＋送料全国一律550円）。また、2021年度版の動物写真も募集いたしますので、奮ってご応募ください。

お申込み・お問い合わせは　日本動物福祉協会 / 事務局 ☎03-6455-7733



JAWSグッズのご紹介

好評のリール付パスケース、ロール付箋のほか、Tシャツ、可愛らしい動物のグリーティングカード、常陸宮妃殿下がご翻訳された絵本などがございます。また、新グッズとして、ロゴ入り傘やダイニングナプキンも揃いました。各種行事、バザーで販売するほか、ホームページ等でもご購入いただけますので、是非お求め下さい。ご家族や大切な人へのプレゼントにも好適です。

▲JAWSオリジナルビニール傘 2,000円（税込）

▲JAWSオリジナルペーパーナプキン（20枚入り）　300円（税込）

使用済み切手、未使用ハガキ・切手を送ってください！

全国の皆様からのご厚情で送っていただいた切手やハガキは、犬猫の不妊・去勢手術の助成金や動物救護活動などに、有効に役立てています。業者指定のサイズにボランティアの方々がトリミングをして下さっていますが、以下の通りにお送りくだされば助かります。
あまり手間いらずで、動物たちにすぐ役立てられますので大歓迎です。少量でも構いません。皆様の温かいご協力をお待ちしています！

切手の処理方法

1. 切手の周りは3ミリ～5ミリ外側を切る。
2. 消印の部分は不要。
3. 外国切手は区別する（少し高く売れます）
   未使用ハガキ・未使用切手

例

会費等の振込が便利になりました

会費振込は、手数料を当協会負担とした郵便局・コンビニ双方からの振込が可能な用紙をお送りし、会費納入をお願いしています。ただ、コンビニから納入いただく場合は、予め金額指定が必要なためバーコードで金額指定をしています。そのため、「会費とは別に寄付を」という温かいご支援をいただける会員の方には、郵便局にて金額を訂正の上、ご送金いただくことになります。お手数をお掛けし大変申し訳ありません。また、「定期的に寄付を」というご希望をお持ちの方には、口座振替をご利用いただけるようになりました。ご希望の方は事務局までご用命ください

※会費と寄付を併せて振込む場合（例1）

例1

寄付者ご芳名（敬称略）

2019/7～2019/12　寄付者一覧表（五十音順）

毎月寄付

相川絵理子　木村瑛　高橋慧　西岡千秋　平田有子　樋渡佐登子　津由利子　ワタベミヅキ

一般寄付者

あさこ動物病院　公益社団法人アニマルドネーション　天野由利子　飯田しのぶ・千寛　飯盛好子　池田正清　池谷麻依
池永寿美子　石井重則　イシハラチヨコ　石丸雅敏　一ノ瀬貴子　井出公一　伊藤かをり　糸満素子　岩井まゆみ
内田夏子　梅本公代　M.A　有限会社エリア. ジー　大石ちえみ　大塚和徳　大坪まや　大友優賀　大野明彦　岡田真美子
小野十美子　小野賀永子　小原多美子　甲斐研一　梶川豊美　カツタユミコ　かもめカフェ（かもめチャリティ）
北関東ペプシコーラ販売株式会社　北端丈裕　木村慎一　栗原くみこ　黒木敬子　国分守義　小峰真紀子　近藤正春
斉藤真喜子　佐々木重臣　篠田俊男　JAWS.UK　白田まち子　杉山良枝　鈴木幸一　鈴木秀雄　砂川恵理子　洲之内茂子
すみだ動物慰霊堂　有限会社saintarrow5　髙木みどり　髙田淑子　鷹野京子　髙橋藹子　髙橋朋美　竹内靖子　竹村恭子
忠地千代美　谷口章子　千葉昭子　中央行事募金箱　土田謙一（みどりとくまちゃん）　土屋和子　角井さよ子　鶴町昌之
豊嶋純子　内藤サカエ　永野孝明　中村文乃　納村道一　西岡照恵　公益財団法人日本いけばな芸術協会　根本時枝
バッカーズ・ファンデーション　花岡幸嗣　浜中光子　浜村みゆき　張替邦夫　株式会社ハローコミュニケーションズ
BAながの青年部Juffy'2　B・C・FLOWER佐藤幸子　平野公子　株式会社フェリシモ　福田裕子　福田葉子　ペットタグ
堀井悦子　牧野ふじ子　町田充子　松浦雅　松岡吉次　松下公一　マリア動物病院　水田哲郎　溝口健治　宮代会
宮本孝　村上寿子　森脇幸　学校法人ヤマザキ学園　山崎佳子　山田協子　山田昌子　ヤマノウジユキコ　山本美惠
山脇雅史　吉川研一　吉田洋子　一般社団法人ラテンアメリカ協会　六畳ブック　脇田昌実　渡辺秀　渡邊雅子

動物関連用品ご寄付者

加藤佳代子　久保久美子　小越規子　越野一恵　斎藤勝男　清水登茂子　鈴木華奈　目黒区生活衛生課　安井節子　湧川洋子

使用済み切手・葉書等ご寄付者

㈱アーキタイプ　㈲R・ビューティー　㈱ILSシモダオフィス　相川絵理子　（公社）愛知県獣医師会　あおい住宅クリニック
あおい綜合事務所　赤羽医院・市川祐子　赤堀敏彦　秋葉美由紀　㈱明工務店　浅野雄太　㈱アステック　あすなろ法律事務所
東登紀子　㈱ASURO　㈱アトム　穴田恵子　安部小百合　阿部優香里　天野純子　網谷和美　㈱荒井建材　荒井みちる
㈱アンテック　安藤芳江　安福智恵　㈱イー・エス・オー　五十嵐幸子　五十嵐千夏　池川香の子　池永公美子　石井清子
石川昭子　石川かほり　石栗美穂　石毛和代　石橋知子　井介三千代　泉電池工業㈱　井出はなえ　伊藤直紀　稲垣哲雄
いぬ・ねこネットワーク秋田　茨城新聞社・筑西支社　岩滝行雄　上東聡美　上村ひろみ　内田涼花　㈱ウッドベルシステム
梅田由香　HKIJapan㈱　英雄海運㈱　江頭純子　㈱エスエヌエス　㈱MRT　㈲エム・オー・ディー　ENTERGEAR㈱
遠藤翔子　遠藤真砂子　㈱尾埼製作所・本社・工場　大熊　太田典子　㈱オーバル　大森さなえ　岡崎舗材㈱　小笠原愛子
小梶夏実　オカダマユミ　岡部郁子　岡睦子　岡安孝一　岡山県私立幼稚園連盟　小川裕子　㈱沖縄庭芸　奥野有子
奥村恵美　尾谷則子　織田秀宜　落合刃物工業㈱　小野寺伸子　海上進　甲斐芳樹　葛西美沙子　風間南美　加藤明美
加藤恵美子　加藤香代子＆レイラ　㈱加藤建設・九州営業所　加藤誠　（公社）神奈川県獣医師会　カナレ電気㈱　金子順子
兼子梨絵　加納洋子　狩俣サユリ　鎌幸美　川口由美子　河野祥子　川村圭子　川村幸菜　神田電気工事㈱・狭山営業所
神田信代　北沢産業㈱・東京支店　北山　（一社）岐阜県畜産協会　木俣紡　キャットシッター・猫の森　木山加奈恵
㈲協立産業　金城みどり　行政書士國原法務事務所　久保哲子　熊谷琴美　熊倉立英　栗田恵　栗林　栗原典子
㈱クレディセゾン・ペイメント事業部・加盟店企画部　黒澤遥　黒田さとみ　黒田早苗　桑嶋美幸　桑野泰子
税理士法人京葉会計事務所　県北木材協同組合　晃亜興業㈱　甲南観光バス㈱　神戸IT会計㈱　㈱神戸製鋼所
㈱コーユーリゾート　こころへ教室　越坂美穂　小柴恵子　小島秀美　小谷かおる　後藤彰子　後藤則子
湖南市ボランティアセンター　小林智栄美　小林美登里　小山道子　小淀診療所　紺野美保　コンビウィズ㈱・本社　斉藤直美
齋藤裕美　㈱サイモクホーム　坂井艶子　㈱坂井電機　栄開発㈱　佐賀板紙㈱　SakikoN.chamberlin　佐々木明子
佐々木智子　佐藤真由美　㈱サニーハウス　サンエスメタル㈱　三興管理㈱　塩谷裕美　渋谷美里　㈲渋谷組
島崎麻矢　清水・京成・東急建設共同企業体・土木東京支店・京成菅野作業所　下田朋子　㈱ジャパンアイディホーム
樹恩ネットワーク　湘南老人ホーム　白石美恵子　㈱シロタコーポレーション　新國裕美子　信州大学　進藤聡子
神野佳乃　吹田市・M　杉山有美　鈴木敦子　鈴木清江　鈴木謙一　鈴木武・ちえ子　鈴木豊彦　鈴木則子
鈴木守　鈴木康之　㈲スタジオ・キャットキック　諏訪部京子　セキソ㈱　㈱セキヤ県央エコプラント　世田谷区・伊藤
瀬戸建設　全国信用金庫協会　副八千佳　総合システム管理㈱　壮瞥町社会福祉協議会　第一観光開発㈱　㈱ダイシン
大仙市中仙学校給食センター　ダイ真由子　㈱大丸グラフィックス　㈱ダイレイ　大和ハウス工業㈱・岡崎支社
大和リース㈱・本社　大和リース㈱・横浜支店・リース管理課・BRANCH茅ヶ崎２　高坂くりえいてぃぶアートスクール
㈱タカシマ　髙田　髙波ゆき子　髙野　髙野歩　髙橋あやの　髙橋夏代　髙橋由美子　髙畑美貴
㈱タカミヤ・岐阜工場　髙宮尚子　髙山陽子　田栗恵子　竹内由佳　竹澤雄子　武田順子　㈱田崎組
多田建設㈱・総務人事課　田中彩乃　田中照美　田中雪乃　谷口眞弓　㈱TARROW　㈱中央機械製作所
㈱中央パッケージング　中善工業㈱　津金みどり　土屋由紀子　椿屋　津吹記代子　坪内小由未　㈲袋内
㈱テクニカル・ユニオン　土井　東海精機㈱　㈱東京海上日動キャリアサービス　東京真珠㈱
東京セキスイハイム㈱・技術・CS部・設計G　㈱東研測量　東光工栄㈱　東芝三菱電機産業システム㈱
どうぶつセレモニーおおぞら　当真剛　東洋クラッチ㈱　東レ・メディカル㈱・東北支店　トーアス㈱　徳之島観光連盟
徳松静代　鵜尾工業㈱　富井美奈　富田珠妙　富山県左官事業協同組合　豊田有紀子　豊永真由美
トリミングサロンmaru-momo　㈱トンボ　永井真維子　中岡工業㈱　永木茂則　中込京子　中園文恵　永田千奈
長沼里沙　中野小太朗　中野寿人　中野美子　行政書士法人中村事務所　中村弘和　中山祐子　㈱なの花西日本
那覇市環境部環境衛生課　鳴谷静香　難波秀光　㈱西澤電機計器製作所　西澤優子　西野浩子　㈱西広AP　二曽康子
日海通信工業㈱・松江支店　ニッキ㈱　日軽産業㈱　日軽パートナーズ㈱　日塗㈱・東日本事業部　㈱NIPPO
日本生命保険相互会社・柏常総支社　㈱日本福祉総合企画　日本郵政㈱・小松島郵便局・総務部　猫の額・木村慎一　野口厚子
野藤唯　野村妙子　白十字訪問看護ステーション　橋本勝子　橋本恵　畑島美紀　八正建設㈱　@patopeko
林温子　林智子　林文樹　原田彰子　原田裕佳　原優子　樋口友希　清瀬育成園ひだまりの里きよせ
㈱ヒューマンスペース　平澤美由紀　㈱平田塗装店　広瀬美智子　ファミリーキャット・小林海香　㈱フォーカスシステムズ
福井のり子　福田簡易郵便局　福田裕子　福田葉子　福原美香子　（福）福利厚生センター　藤井精密工業㈱
㈱藤岡製作所　藤木岳夫　不二製油㈱・人事部　藤田　藤野晴美　㈱フジ・メディア・テクノロジー　藤好クリニック
㈱プリマジェスト・本社　古市久美子　古川起代子　古川聖子　㈱古島・東京支店　旧谷祐希　古家由希子
ベーリンガーインゲルハイムジャパン㈱　㈱帆栄物流　ホーメイ商工㈱・本社　ホクレン農業協同組合連合会
㈱保険センター宮城　細川桜　堀田ひろみ　堀内夕太朗　堀内陽子　堀澤晴美　本山建設㈱　前田華奈　㈲前田技興
前田真理子　前田三千代　牧野まゆみ　増田律子　町野由香里　松川りつ子　松下友紀　松永慶子　松本洋子
間戸場靖子　招月庭　真野順子　㈱マルティックス山陽　三甲野美加　㈱ミズノアベール保険サービス・営業部
㈱美鷹生方翠　三田村知子　道林真理　三井住友海上火災保険㈱・千葉支店・成田支社　三井住友信託銀行・豊中支店
㈱ミット　三菱オートリース㈱・経営企画部・経営企画課　㈱三森コーポレーション　宮内光子　宮崎ひとみ　宮島・中村
㈱雅商事・購買部　貫吉奈津夫　向井かつこ　武藤良子　㈱ムラキ　村澤節子　村瀬和子　村田絵理奈　村田喜代美
目黒智子　メットライフ生命保険㈱・大阪スカイエイジェンシーオフィス　毛利由香　望月千晴　㈱もっかいトラスト
盛岡市保健所・生活衛生課　森戸久爾子　森久子　ヤシマコントロールシステムズ㈱　安田あかり　八幡悦子　藪陽一
Y.A.P.S.山形動物愛護を考える会　㈱山口ナット　㈱ヤマデン・埼玉営業所　山室享子　山本幸香　山本孝子　山本珠子
山本まさ子　山本美奈　㈱山脇刃物製作所　郵船ロジスティック㈱　優和産業㈱・金沢店　湯口夏未　吉川利佳
吉田章紀子　吉田利子　吉野晴美　米澤　米原美沙恵　㈱ライカ　（福）来福　ラッキーママ　㈱ラビスネット
㈱Re.　㈱利休　㈱リバティサービス　リファインンパース㈱　りんころRingソーing部
リンナイ㈱・北関東支店　㈱ルート　（公社）レーザー技術総合研究所　ワイズトラスト㈱　若松昌代　若本智佳
脇坂寛之　和田孝之　和多田さゆり　渡邊邦章　渡邊しのぶ　渡辺麻衣子　渡辺守利

会員継続と会費納入のお願い

当協会の動物福祉活動は支援者の方々からのご寄付と会員の方々の会費で成り立っています。不妊･去勢手術援助は毎年特定の地域(県)を選定し、キャンペーンとして行っており、今や、すっかり定着し援助に対する期待も大きくなっています。動物福祉啓発の為の各種セミナーもご好評を頂いております。こうした地道な活動を継続、拡大するには安定した資金源が必要であり、その観点からもご寄付に加えて、会員の基盤を強固にしていく事が大事だと考えております。動物福祉に興味を持たれておられる方には、是非、皆様から入会をお奨めいただきたく、ご協力の程、宜しくお願い申しあげます。

会員種別と会員番号は封筒の宛名のお名前の下に記載されています。

〒141-0022
東京都品川区東五反田 2-6-5
福 祉 愛 子 様
A ○○○○○

会員種別　会員番号

会員種別

維持会員（S）	7,000円*
賛助会員（A）	3,000円
青少年会員（J）	1,000円

ご送金方法

郵便振替口座番号 00130-6-20714
(公社)日本動物福祉協会 宛
宛名は公益社団法人＝(公社)となります。
＊正会員2名の推薦が必要です。

ご寄付のお願いと関連する税優遇措置について

皆様からのご寄付は全て私どもの動物福祉活動資金として活用されています。今年度の収支予算においては、収入面では会費31百万円、寄付金40百万円を見込んでいますが、一方で、支出面では「いぬねこ不妊去勢手術推進キャンペーン」を含む不妊･去勢手術助成金や動物救護活動費用を始め公益事業拡充のための積極的な予算を組んでおり、資金確保が重要な課題となっています。そのため、当協会では会員数の増加とともに、もう一本の柱であるご寄付につき、税制面での優遇措置などへのご理解を深めていただき、幅広くご支援をお願いしてまいる所存です。当協会は2011年(平成23年)に公益社団法人に認定されましたので、皆様が個人として当協会にご寄付、あるいは、ご遺贈された場合には、税額控除や所得控除(寄附金控除)が受けられます。

寄付金の使い道

ご寄付の際は、以下の用途をご指定頂けます。ご送金頂く際、郵便振替用紙の通信欄に基金名をご記入ください。
※ご指定が無い場合、一般寄付として受領させて頂きます。

動物救護基金
動物の保護・新しい飼い主探し等の為のご寄付

不妊・去勢手術助成基金
飼い主のいない犬・猫を減らしていく、不妊・去勢手術のためのご寄付

一般寄付金
動物福祉理念の普及や、協会の全般的な活動のためのご寄付

ご送金方法　郵便振替口座番号：00130-6-20714
加入者名：公益社団法人 日本動物福祉協会

税制上の優遇措置の概略

公益社団法人日本動物福祉協会へのご寄付は、税制優遇措置の対象となっています。所得税、個人住民税、相続税について、それぞれに定められている条件を満たすことで、優遇措置を受けられます。なお、優遇措置を受けるためには申告が必要です。
※住民税における寄付金控除は、各都道府県および市町村の条例で指定されている場合のみ適用されますので、お住まいの都道府県および市町村にお問い合わせください。

	◎税額控除（H23改正追加）	◎所得控除（従来型）
控除額	**（寄付金額－2,000円）×40%** ※対象となる寄付金額の上限は、総所得金額の40%相当額 ※控除税額の上限は、所得税額の25%相当額	**寄付金額－2,000円** ※対象となる寄付金額の上限は、総所得金額の40%相当額
◎個人住民税		
控除額	**①都道府県が条例指定　（寄付金額－2,000円）×4%** **②市区町村が条例指定　（寄付金額－2,000円）×6%** ※重複指定であれば、（寄付金額 －2,000円）×10%	
◎相続税		
非課税措置	**遺贈または相続財産の寄付は相続財産から除外（租税特別措置法70条）** ※条件：寄付を受ける公益法人がその財産を2年以内に公益目的事業に使う事 （使わなかったり、公益認定が取り消された場合は改めて相続財産に加算）	

詳しくは協会事務局までお問い合わせください。